

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c	
(重み付けの理由) スポーツ活動の支え合いが身近に感じられることが重要であるため、市民の実感を重視する。						26 年度
(原因分析) 【客観指標】京都マラソンの開催に伴い、平成23年度以降のボランティア参加者数が大幅に増加しているが、平成26年度は、京都マラソン以外の市主催事業に参加したボランティア数が若干減少したため、a→b評価となった。 【市民の実感】ボランティア参加に関する機会についての認識が十分でないために、前年度に引き続きc評価になったと考えられる。						25 年度
						B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	スポーツ推進委員	24,762	25,415	普通	文化市民局
2	市民スポーツフェスティバル	16,967	18,080	良い	文化市民局
3	全京都大学野球トーナメント大会	4,197	4,454	かなり良い	文化市民局
4	体育振興会事業助成	19,712	19,769	良い	文化市民局
5	国体派遣補助	1,325	1,325	良い	文化市民局
6	京都マラソン	543,402	514,797	良い	文化市民局
7	京都市市民スポーツ振興計画の中間見直し	-	4,271	—	文化市民局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●市民スポーツフェスティバル、京都マラソン2016等を通じて、大会を支えていただくボランティアの増加を図るとともに、大会をきっかけとしたスポーツの魅力発信に努め、スポーツボランティアの意義を伝え、「支えるスポーツ」のさらなる振興を目指す。

施策名	0703	多様なスポーツ活動を支援合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）				
指標名	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)					
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6 - 0 1 6 9		
1 指標の説明						
市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数						
2 指標の意味						
市主催のスポーツ事業において市民の間でスポーツ活動を支援合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	9,329	9,118	211人減少	9,417	23年度現況値（9,126人）と32年度目標値（10,000人以上）から各年度の目標を等差的（97人増/年）に算出	96.8%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		10,000人以上	32年度	91.2%	多くの市民ボランティアが参加する京都マラソンを開始した平成23年度の現況値9,126人から約10%増の10,000人以上の参加を目標とする。	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
25		26		27		
a		a		b		